

スポーツのチカラで未来を創る～いわたスポーツプラットフォームの共創の取組～

＜目標＞ 計画期間：～令和11年3月31日

- ① **スポーツを共通言語とした多様な主体による共創** KPI:プラットフォーム参画団体数 (目標140団体)
- ② **スポーツ×異分野によって、地域課題・社会課題に対する革新的な取組の創出** KPI:新規プロジェクト創出数 (目標6プロジェクト)
- ③ **持続可能なまちの実現、スポーツのまち磐田の進化** KPI:共創による取組件数 (目標18件)

＜PRポイント＞

- 世代・業界・立場を超えた**新たな連携**を生み出すプラットフォーム
- スポーツを『入り口』として**多分野の課題**に挑む革新的アプローチ
- **参加者が自ら**価値を生み出す持続可能なまちづくり

＜現状・課題＞

本市は、豊富なスポーツ資源と大規模スポーツイベントの成功実績により「スポーツのまち磐田」として歩を進めてきた。一方で、人口減少・少子高齢化・気候変動などの複合的な課題に直面し、従来の行政主導型施策だけでは解決が困難な状況となっている。そこで令和7年1月、プロスポーツチーム、企業、団体、大学、行政等をスポーツでつなぐ「いわたスポーツプラットフォーム」を立ち上げた。多様な主体がスポーツを共通言語として共創し、地域課題解決に向けた革新的な取組を創出する。

＜総合的な取組内容＞

いわたスポーツプラットフォーム 会員数 **71団体** (令和7年9月末現在)

プロスポーツチームや企業、団体、大学、行政などがつながり、課題やニーズを共有、意見交換しながら、スポーツを通じた地域活性化や共生社会の実現など社会課題の解決を目指します。

市は「対話の場」「つながる場」を提供し、共創を支援

知り合う

交流会の場を設け、会員同士が互いの強み・課題を把握できる出会いの機会を創出します

学びあう

有識者講演や事例共有を企画し、先進地の学びを促しつつ、課題への問題意識を共有する場を提供します

つながり動き出す

会員の連携から生まれたプロジェクトをマッチング・調整・実証・情報発信で伴走支援し、成果を市内外へ届けます



腸活プロジェクト

【事業案】

- ・スポーツ腸活ラボ in IWATA
- ・親和性の高い「女性活躍プロジェクト」や「食プロジェクト」との連携 など

環境・産業・教育・福祉など、さらに他分野へ連携事業の拡大

動き出した3つのプロジェクト

女性活躍プロジェクト

【事業案】

- ・女性アスリートの健康セミナー
- ・スポーツ×女性の健康ウィーク など

食プロジェクト

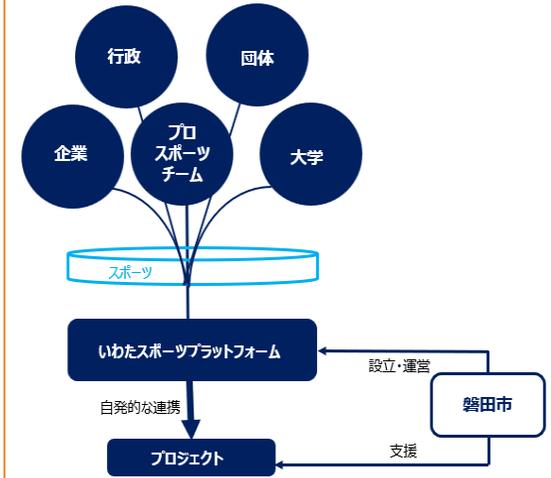
【事業案】

- ・アスリートと考える地産地消費
- ・スポーツ×農業商業体験プログラム など

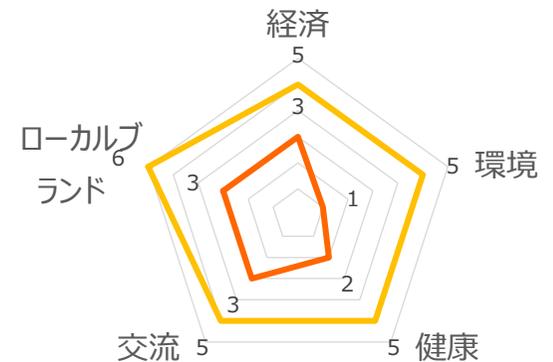
持続可能なまちづくりの実現

スポーツのまち磐田の進化

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



＜セルフチェックシート＞



【フォローアップ欄】令和7年度以降における計画の進捗状況

問合せ先・電話番号

静岡県磐田市
自治市民部スポーツのまち推進課 (0538-37-4832)